<http://bitcoinmagazine.com/3502/ripple-getting-started-guide/>

# リップル：初心者用ガイド

*著者：*[VITALIK BUTERIN](http://bitcoinmagazine.com/author/vitalik-buterin/)*日付：*2013年2月26日

今では、 [Ripple（リップル）](http://bitcoinmagazine.com/introducing-ripple/)という最近出現した分散型の暗号化通貨プロジェクトを耳にされた方も多いと思われます。現在、ビットコインコミュニティの中で大きな話題となっています。ビットコインを使えば誰でも、分散型ネットワークを通じて、非常に低コストで世界中にてビットコインを所持し、送金し、受け取れます。リップルを使うと、他の通貨についても、誰にでも同じことができるようなのです。

リップルを使い始める場合は、リップル用の財布を開設する必要があります。2009年におけるビットコインと同様、現時点では正式なリップルクライアントは一つだけであり、 [ripple.com](http://ripple.com/)にて入手できます。 クライアントはウェブベースであり、ソフトウェアダウンロードが必要ありません。その上、BitcoinQtよりもさらに強力で使いやすくできています。必要な手順は、一般的なウェブサイトでアカウントを作成するのと同じくらい簡単です。「Start ripple（リップル使用開始）」をクリックし、「Create an account（アカウント作成）」へ進み、指示に従うだけです。

アカウントを作成した後、有効にする必要があります。ビットコインと異なり、秘密鍵を発行し続けてリップルアカウントを無限に開設することはできません。また、初期投資額として50 XRP（リップルの内部通貨単位）を預け入れないと、アカウントは使用できません。この時点で、初期投資を行う方法は2種類あります。まず、OpenCoinが時折無料でXRPを配っています。欲しい人には誰でも、大量のXRPを渡しています。現時点では、OpenCoinはビットコインコミュニティを対象にしています。そのため、配布を受け取る際には、ユーザーは[Bitcointalk](http://bitcointalk.org)フォーラム（広く利用されているビットコインフォーラム）内のスレッドへ投稿することが条件でした。後に、フェースブックのアカウントや携帯電話の番号を担保にした無料配布が行われるはずです。無料配布の機会を目にしない時、あるいは今すぐに欲しい場合、XRPを誰かから購入できることもできます。最大のリップルコミュニティはここと、[https://ripple.com/forum/](http://ripple.com/forum) ここです。 <http://reddit.com/r/ripplers>ビットコインを取引に使えるのであれば、XRPと交換する人は簡単に見つかるはずです。後でXRPをもっと購入したい場合は、リップル内に「分散型の両替コーナー」があり、リップルシステム内でXRPを他のいかなる通貨にも交換できます。ただし、口座内に最低50 XRPなければなりません。

リップル内で送金し、受け取るプロセスはビットコインと同じです。リップル財布内で「Receive（受領）」タブをクリックすると、画面内にリップルアドレスが現れます。ビットコインのアドレスとほぼ同じですが、ビットコインではアドレスが「1」で始まるのに対して、リップルでは「r」で始まるのが違いになります。誰かに送金する際は、単純に受け手のアドレス、通貨の種類、金額を入力して、「Send（送金）」タブをクリックします。同じ手順を用いて、リップル口座に存在するいかなる通貨も送金できます。ただし、送金者（あなた）と受け手の両方が信用ネットワークで結ばれていない場合は、両替できる通貨はXRPだけになります。

口座内に最低50 XRPを入金した後、他の通貨（ビットコインや米ドル）も口座内に入れたくなるでしょう。そのためには、ゲートウェイにて口座を開く必要があります。今のところ、2箇所のゲートウェイが利用できます。WeExchangeとBitStampです。WeExchangeでは以下の手順を踏むことになります。まず、WeExchange内にアカウントを新設します。WeExchangeにログインし、Funds -> Add Funds -> BTC（資金＞資金追加＞ビットコイン）メニュー項目へ行き、ビットコインを貯金するビットコインアドレスを取得します。（不換紙幣も貯金できますが、いつもの通り、今のところはビットコインが一番楽にできます。）WeExchangeが預入を確認した後、Funds -> Withdraw Funds -> Ripple（資金＞資金取出＞リップル）メニュー項目へ行きます。ページの最後に、信用のおけるアドレスの一覧が示されます。リップル財布を開き、「Advanced（詳細設定）」タブへ移動します。「Trust（信頼）」をクリックし、一覧へ信頼できるビットコインアドレスを追加します。また、貯金する金額と同額かそれ以上の額を信頼枠として入力します。これにより、あなたとWeExchangeとの間で信用枠が形成されます。WeExchangeはあなたにビットコインを送金できるようになります。より正確に言うと、リップルネットワークを通じてビットコインの借用証書を発行します。次に、「Receive（受領）」タブへ行き、ご自身のリップルアドレスをコピーしてください。WeExchangeへ戻り、「BTC（ビットコイン）」を引き出し通貨として選択し、貯金額とご自身のリップルアドレスを入力します。これで、リップル口座内にビットコインが入れられました。

ビットコインを別の通貨と交換する場合は、再度リップルに戻り、「Advanced（詳細設定）」タブにて「Trade（取引）」をクリックします。取引画面のトップにて、「BTC/XRP」オプションを選択し、「change issuer（発行人の変更）」をクリックします。信用一覧に入力したものと同じリップルアドレスを入力すると、WeExchangeがビットコインの通貨発行人として指定されます。次に、MtGoxやBitStampのような両替所でビットコインと不換紙幣を交換するのと同じ要領で、取引画面において、ビットコインを売って他の通貨を入手できます。取引条件を良くするために現在の「入札」価格を上回る価格を入力しない限り、取引は直ちに行われ、すぐに所望の通貨が手に入ります。

リップル資金をどこで使うかについてですが、今のところはリップルを支払として受け付けている業者は1つのみで、[Private Internet Access](http://privateinternetaccess.com/)と呼ばれます。Private Internet AccessはXRPのみを受け付けます。リップル内の米ドルやビットコインを送金することは、まだできません。XRPの支払手数料は、今のところ米ドルやビットコインの年間$39.95に比べるとかなり高価です。XRPには明確な市場価格がまだ存在しないためです。Private Internet AccessはXRPの送金先としてアドレスを一つあなたに送りつけるはずです。このアドレスには、最後に数列が付属しています。こういった感じです：r9EUYx41zx3audeARUwpkDF7VuwcmbwYTU?dt=2399767994。支払を行うときは、数列込みで、アドレスを全て選択してください。数列はリップル取引の一部を成しており、Private Internet Accessに対して支払対象の取引内容を指定します。

このままうまくいけば、リップル支払を（オンラインで）受け付ける業者がもっと出現するでしょう。それを待たずとも、モノやサービスを店頭で直接購入する方法は既にあります。 [https://ripple.com/forum/](http://ripple.com/forum) や <http://reddit.com/r/ripplers>を参照してください。今はとりあえず、暗号化通貨の最新かつ最高の成果を楽しんでください！

#### 著者： [Vitalik Buterin](http://bitcoinmagazine.com/author/vitalik-buterin/)

Vitalik ButerinはWaterloo大学のコンピューター工学部で学んでおり、しばらく休暇を取ってフルタイムでビットコインに携わっています。彼は2011年3月からビットコインコミュニティに参加しており、それ以来ビットコイン関連のプロジェクトで積極的に活動を続けています。彼が現在携わる主な領域はビットコインマガジンへの寄稿、Egoraでのプログラミング、ビットコインのソフトウェアライブラリの構築、そして「colored coins（ビットコインプロジェクトの一種）」への参加などです。他の興味分野としては、数学、コンピューター工学、オンライン教育、経済学、哲学などがあります。個人用ウェブサイトは http://vbuterin.com を、記述したコード例は http://github.com/vbuterin を参照してください。ご質問がある場合は、 v@buterin.com　まで遠慮なく直接聞いてください。